



2025 年 9 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ  
(東証グロース・コード 3070)  
本社所在地 東京都台東区上野 1 丁目 16 番 5 号  
代 表 者 代表取締役社長 宮 崎 明  
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 田 上 昌 義  
電 話 番 号 (03) 3871-0111 (代表)  
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

## 一般社団法人 Meister との業務提携に関するお知らせ

株式会社ジェリービーンズグループ（東京都台東区、代表取締役：宮崎 明、以下「ジェリービーンズグループ」）は、2025 年 9 月 25 日開催の同社の臨時取締役会にて、一般社団法人 Meister（本社：兵庫県神戸市、代表理事、岡 良一、以下 Meister）と業務提携契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 提携の背景と内容につきまして

Meister は元サッカー日本代表の岡崎慎司が理事を務め、J リーグ入りを目指す FC BASARA HYOGO（エフシーバサラヒョウゴ）の運営や約 400 人が在籍する育成年代含む地域型スポーツクラブ運営しています。また、最先端スポーツ施設 BASARA Village Green の運営に加え、環境問題にも配慮した、日本初のグラウンドの下に雨水を貯水できるシステムを導入しています。真夏の人工芝は最高 70 度まで上がるとされていますが、この機能によって 40 パーセント表面温度をカットできる世界最先端スポーツ SDGs を取り組んでおります。さらに、同施設では国の県有機関でもある国立環境研究所気候変動適応センターと阪神園芸株式会社と「人工芝グラウンドにおける暑熱環境対策の導入効果」について共同研究をスタートしております。異常気象および気候変動による気温上昇に伴う夏期の暑熱環境の悪化が問題となる中で、サッカーおよびスポーツを持続可能なものにしていく為に、気候に「適応」していくことは不可欠であると考えこのような取り組みをおこなっております。

ジェリービーンズグループでは 2024 年からスポーツ事業や J B スポーツの立ち上げをおこない、2025 年には環境問題に取り組む子会社である J B サステナブルを立ち上げております。スポーツ施設において SDGs や子供達のスポーツへのリスク軽減に取り組み、理事であり地元兵庫出身の岡崎慎司理事を筆頭にスポーツによる地域貢献にも取り組んでおり、プロスポーツチームとしても数多くのスポンサー企業に支えられて地域の誇りとなっている Meister との様々なシナジーがあると判断し、この度の業務提携に至りました。

#### 2. 提携内容について

本提携に基づき、ジェリービーンズグループと Meister は以下の分野において協力してまいります。

- (1) 教育プログラムの共同開発、研修実施及びスポーツイベントの共催
- (2) スポーツ施設における暑熱環境対策・環境配慮型技術の共同研究・導入推進
- (3) ノウハウの提供、人的交流及び施設の相互利用
- (4) 共同マーケティング活動及びブランド共用による認知度向上
- (5) スポーツを通じた地域貢献・次世代育成事業の推進

これらの本提携により、当社は以下のメリットを享受できるものと考えております。

① SDGs・ESG 経営の推進

Meister は、環境配慮型スポーツ施設の運営や暑熱環境対策技術の実証研究において先進的な取り組みを行っています。当社がこれらと連携することで、当社グループが展開するスポーツ事業（スポーツアパレル販売等）や、環境関連事業（JB サステナブルを通じた環境技術の開発・普及事業）に、実効性の高い環境対応策を導入することが可能となります。これは、Meister が既に実証済みの技術・ノウハウや施設運営の実績を当社が活用できるためであり、結果として、当社の SDGs への取り組みや ESG 経営を一層強化することにつながります。

② 新規事業領域の拡大

スポーツ教育、地域型クラブ運営、環境技術の活用等において協業を進めることで、当社の既存事業セグメントである『スポーツ事業』においては、Meister の持つ指導ノウハウや地域クラブ運営モデルを取り入れることにより、子供から社会人まで幅広い層を対象としたスクール事業の拡大が期待されます。

また、『環境・サステナブル事業』においては、Meister が導入している暑熱環境対策技術や水資源循環型システムを自社施設開発やサービス提供に応用することで、環境配慮型スポーツ施設の展開が可能となり、新規顧客層の獲得に寄与することが想定されます。

③地域貢献・企業ブランドの向上

当社は、Meister が運営する **FC BASARA HYOGO** や地域型スポーツクラブに対し、スポンサーシップ等による資金面の支援、社員のボランティア参加やイベントへの人的派遣、当社のブランド運営・マーケティング知見の提供を行います。さらに、当社グループの「JELLY BEANS SPORTS」事業との連携により、スポーツとファッションを融合した取り組みを推進し、クラブの魅力発信を強化します。また、Meister が展開する環境配慮型施設「BASARA Village Green」での活動支援や暑熱環境対策技術の活用を通じ、安全で持続可能なスポーツ環境づくりにも寄与します。これらの取り組みにより、地域社会への貢献を果たすとともに、当社のスポーツ事業・環境事業とのシナジーを高め、企業ブランド価値の向上につなげてまいります。

以上のとおり、本提携は当社にとって、事業領域の拡大にとどまらず、持続可能な社会の実現に資する取り組みを加速させる重要な一歩であり、中長期的な企業価値の向上に資するものと考えております。

3. 契約締結先企業について

|       |                         |                                   |                |                     |                     |              |             |  |
|-------|-------------------------|-----------------------------------|----------------|---------------------|---------------------|--------------|-------------|--|
| (1)   | 名                       | 称                                 | 一般社団法人 Meister |                     |                     |              |             |  |
| (2)   | 所                       | 在                                 | 地              | 兵庫県神戸市西区平野町印路 681-1 |                     |              |             |  |
| (3)   | 代表者の役職・氏名               | 岡 良一                              |                |                     |                     |              |             |  |
| (4)   | 事                       | 業                                 | 内              | 容                   | スポーツを通じた教室の開催に関する事業 |              |             |  |
| (5)   | 基金の額                    | 基金制度を導入しているものの、現状では基金の募集は行っておりません |                |                     |                     |              |             |  |
| (6)   | 社                       | 員                                 | 数              | 9 名                 |                     |              |             |  |
| (7)   | 設                       | 立                                 | 年              | 月                   | 日                   | 平成 27 年 11 月 |             |  |
| (8)   | 出資者及び出資比率               | 該当事項はありません。                       |                |                     |                     |              |             |  |
| (9)   | 上場会社と当該会社との間の関係         | 資                                 | 本              | 関                   | 係                   | 該当事項はありません   |             |  |
|       |                         | 人                                 | 的              | 関                   | 係                   | 該当事項はありません   |             |  |
|       |                         | 取                                 | 引              | 関                   | 係                   | 該当事項はありません   |             |  |
|       |                         | 関連当事者への該当状況                       | 該当事項はありません     |                     |                     |              |             |  |
| (10)  | 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 |                                   |                |                     |                     |              |             |  |
| 決算期   |                         |                                   | 2022 年 9 月期    |                     | 2023 年 9 月期         |              | 2024 年 9 月期 |  |
| 純 資 産 |                         |                                   | 15 百万円         |                     | 43 百万円              |              | 33 百万円      |  |

|   |   |   |         |         |         |
|---|---|---|---------|---------|---------|
| 総 | 資 | 産 | 264 百万円 | 278 百万円 | 267 百万円 |
| 売 | 上 | 高 | 95 百万円  | 133 百万円 | 143 百万円 |
| 営 | 業 | 利 | 1 百万円   | 11 百万円  | △9 百万円  |
| 経 | 常 | 利 | 1 百万円   | 11 百万円  | △9 百万円  |
| 当 | 期 | 純 | 1 百万円   | 11 百万円  | △9 百万円  |

4. 今後の見通し

本事業による当社の 2026 年 1 月期の業績に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上